



情 報 局 編 輯

週 報

二十二年十二月三十一日

明年中等學校の入學考査
 大東亞戦争と船員
 一般會計豫算の概貌
 年末年始の旅行制限
 標準漢字表
 愛國百人一首

324號

昭和十七年十月一日第一種郵便物認可
昭和十七年十二月三十一日第三種郵便物認可
（毎週一回水曜日発行）

五錢

週 報
昭和十七年十月一日第一種郵便物認可
昭和十七年十二月三十一日第三種郵便物認可
（毎週一回水曜日発行）
内閣印刷局印刷發行

週報は民翼賛の道しるべ

大東亞戦争國債

郵便局賣出
十二月七日⇨十八日

大東亞戦争第一周年記念

あの感激を 國債へ債券へ

第六回戦時 貯蓄國債券

賣出 十二月七日⇨一月七日

(本書の大きさは、規定規格A5判)

露光量違いにより重複撮影

必勝必成の

決意新たに

大東亞戦争第二年度の

新春を迎へよう

週報

第三二四號
十二月二十三日

昭和十八年度一般會計豫算の概貌

大蔵省・二

來年度の中等學校

文部省・二

入學考査について

文部省・二

年末年始の旅行制限

鐵道省・九

標準漢字表について

文部省・三

標準漢字表

文部省・三

大東亞戦争と船員

海務院・三

大東亞戦争日誌

海務院・三

愛國百人一首

文部省・三

週間誌

十二月十日
昭和十八年度一般會計豫算九十九億九千五百萬圓を閣議で決定
十二月十一日
シヤワ作戦に偉勳の坂口兵團・同配属部隊、東海林部隊・同配属部隊、同區處部隊に對し感狀が授與され、上聞に達した旨、陸軍省發表
十二月十二日
天皇陛下、伊勢の神宮に御参拜(十日に香都を御覽察十三日に皇威(皇勢)顯勝を御祈願あらせらる
十二月十四日
中央物産統制協力會議を開催
十二月十五日
芳澤佛印特派大使、トクノ總督と會談
十二月十五日
天皇陛下、産業經濟代表者に拜謁仰付けらる

十二月十六日
産業經濟代表者懇談會を總理大臣官舎で開催
陸軍航空部隊のチッタコ(シヤワ)猛撃の戦果(十度目)七度目、十度目、四十五度目、陸上攻撃隊を揚子江を大本營發表
海軍航空部隊、ニューギニア島ブナ附近の戦果(十一月二十四日以來十二月八日まで)敵機四十四機を撃墜し、哨戒艇、掃海艇三隻を沈没させ、大木營發表
陸軍航空部隊、桂林方面で敵大型機四機を撃墜
十二月十六日
チモール島政略に偉勳の神戸歩兵中隊、同配属部隊、マインタル群島方面に出現の米機動部隊を撃退の中井大尉指揮の海軍航空隊、〇〇派遣隊に感狀が授與され、上聞に達した旨、陸軍省發表



昭和十八年度一般會計豫算の概貌

大 藏 省

大東亞戦争下第二年度たる昭和十八年度の豫算編成については、さる八月、各省から概算要求が大藏省に提出され、以来四ヶ月の間、大藏省において慎重審議の上、各省との折衝を重ねた結果、十二月十日の閣議において概算の決定をみるに至つた。今後はこれに基づいて一般會計豫算が調製され、來

春早々、再開初頭の帝國議會に提出の運びとなるわけである。

十八年度概算額

今回決定をみた昭和十八年度概算額は、歳入歳出共に、九十九億九千五百餘万圓であつて、さる四月に開かれた第八十回帝國議會で成立した追加

豫算を含めた昭和十七年度一般會計豫算額と比較すれば、歳入において十一億五千七百餘万圓、歳出において十一億四千四百餘万圓の増加となつてゐる。かく歳入、歳出の各増加額の間に差異のあるのは、昭和十七年度豫算において歳入額の一部は、豫算實行上の歳入超過額を以つて充てることになつ

た第八十回帝國議會で成立した追加

てゐるためである。

現在、帝國の直而してゐる諸般の情勢に鑑み、さらに物資、勞務および資金供給の状況をも考へ合すと、臨時軍事費の需用にも備へ、戦時財政經濟政策の円滑な運行を期するために、出來る限り政府の歳出の膨脹を抑制することが必要なのはもちろんであるが、他面、大東亞戦争を完遂し、大東亞共榮圏の確立を期するためには、施策を要する事項が極めて多端に上る以上、このために概算額がこの程度増加することは、眞にやむを得ぬところといはねばならない。

歳入

先づ、歳入の大略を述べれば、昭和十八年度歳入概算額、九十九億九千五百餘万圓のうち、租税その他の普通歳入は八十三億九千餘万圓、前年度剰餘金繰入は三億三千餘万圓であつて、歳入額からこれ等の合計額を差引いた残額十二億

七千四百餘万圓が公債財源といふことになる。

普通収入の大宗は、いふまでもなく租税収入であるが、租税収入は經常部および臨時部を通じて六十八億七百餘万圓に上り、前年度豫算額に比し十億四千七百餘万圓の増加を示し、銃後國民經濟の進展の跡を窺ひ得るものと、心強さを覚える次第である。なほ、この普通収入のうち、支那事變以來の税制改正に基づく増収額と、煙草の値上等に基づく專賣局益金の増加額との合計額中の相當額、即ち二十七億五千五百萬圓は前年通りこれを臨時軍事費特別會計に繰入れ、戦費に充當することになつてゐる。

公債發行豫定額は十二億七千四百餘万圓であるが、うち震災善後公債と道路公債との合計が二千万圓足らずである外は全部歳入補填公債であるが、公債發行豫定額を前年度と比較すれば二

歳出

億五千餘万圓の減少を示してゐる。次ぎに歳出について、その概要を述べよう。歳出概算は、時局の要請に即應して各省からの新規要求事項は極めて多岐に亘り、その金額も巨額に上つたのであるが、これに對して、夙に閣議決定を経た豫算編成方針に基づき、重點主義と効率主義との観点から、新規經費のうち、さきに閣議において先議決定された事項については、財政事情の許す限り、出來るだけこれを計上するのとに努めたが、その他の新規要求および既定經費については時局の推移に順み、十分な検討を遂げた上、眞に相應しい戦時豫算とするやう努めた次第である。

歳出豫算の内譯

その結果、歳出豫算額は九十九億九千五百餘万圓となつたのであるが、そ

の内譯は左表の通りであつて、國土の防衛、生産力の擴充、國民生活の確保、その他いづれも現下の時局に顧みて、眞に必要さし措き難い經費のみである。

経常部	臨時部	計
皇室費	〇	〇
外務省	三	三
内務省	三	三
大藏省	三	三
陸軍省	六	六
海軍省	〇	〇
司法部	一	一
文部省	三	三
農林省	七	七
商工省	九	九
逓信省	九	九
厚生省	一〇	一〇
大東亞省	一〇	一〇
計	四九三	五〇三

異動を生ずるやも測り難い。右の表に見る通り、昭和十八年度においては、先頭行はれた行政機構の改正に伴つて、従来の拓務省所管がなくなり、大東亞省がこれに代つた。また陸海軍兩省所管の經費が甚だ小額なのは、前年度通り本省費以外の經費は殆んどすべて臨時軍事費支辨となつてゐるためである。

戦争豫算の特色濃化

前述のやうに、來年度の概算は前年度の政府施策の非戦時性を拂拭するたため、既定經費に對しても十分な再検討を加へた上で出来上つたのであつて、その減少額も三億五千餘万円に上つてゐるのであるが、何分にも臨時軍事費特別會計への繰入、地方分與税分與金特別會計への繰入、國債費、年金及び恩給等のいはゆる特殊經費その他必要やむを得ない經費の増高が著るしかつたため、右概算額は前年度に比し十億四千四百餘万円を増し、遂に百億圓に垂んとする額に達したのである。わが國民經濟力の現狀を以つてすれば、百億圓といふ金額は必ずしも過大な金額とはいへないのであるが、今後編成さるべき臨時軍事費の追加豫算その他、各特別會計の豫算額をも考へ合はせると、これらの歳出に伴つて、民間に放出される資金の量も相當巨額に上ることが想像に難くないのである。従つて、これら民間資金を回收して國民經濟の運行を確保する點からいつても、全國民は各、その分に應じた租税負擔に任ずべきことは申すまでもないが、同時に一層不自由に堪へて消費生活の切詰め、ます／＼貯蓄額を増加して國家の必要とする資金の調達に貢献することが緊要である。

來年度の中等學校 入學考査について

文 部 省

またそろ／＼中等學校への入學が話題に上る時期になつて來ました。特に來春、中學校・高等女學校・實業學校に入學させる子女を持つ親達は、もういろいろと心を碎いてをられることせう。

な方針で行はれるかが確定したわけではありませんから、こゝに通牒の内容をだいたい述べることに致します。

考査の方法

の選抜法は、昭和十五年春から行はれてゐるのですが、文部省で慎重考査の結果、この選抜方法を繼續することにしたのであります。

縣の指導の下に、それらの學校で不斷の努力を拂はせるやうにしてゐます。結局、三者綜合の選抜による方針は、來年度も堅持されることを先づはつきりと申しておきます。

學區制と綜合考査制

次に、本年度初めて指示された學區制と綜合考査制については、これを一層廣く行ふ方針であります。

この新しい入學制度に關しては、去る一月十四日の週報(二七五號)で解説しましたし、また今春、現に數府縣で實施されたことですから、いま改めて詳しく説明するまでもないでせうが、簡単に申しますと、學校の入學志願について一定の地域的規制を行ふのが學區制、幾つかの學校の志願者を綜合して考査を行ひ、合格者をそれ等の學校に配分するのが綜合考査制であります。

本年の入學考査に際して、學區制を實施したのは、東京、大阪、愛知、神奈川、滋賀、鳥取の六府縣で、綜合考査制(學區制を加味した)を斷行したのは、京都府であります。しかしその他にも制度としてはありませんが、學區制の精神を考慮して適切な處置を行ふやうに指示した縣は多數に上つております。

文部省では、右の實施の情況について綿密な調査を遂げた結果、これを制度として行つた府縣では、最初の試みであつたにもかゝらず、だいたい良好な成果をあげたことを確認しました。そこで來年度には、その効果をさらに高めようとしてをるのであります。

即ち第一に、すでに實施した府縣でも、例へばその適用の範圍を擴げるとか、方法上なほ改善を加へるとかといふやうに、一段の工夫を廻らすことを

要望したのであります。

第二に、本年度に實施しなかつた府縣には、大都市を含む府縣に對して學區制・綜合考査制の兩者、またはそのいづれか一つの實施を考慮することを促すと共に、その他の縣も來年度は兩制の實施について、それらの地方の事情に應じて研究するやうに要望したのであります。

いつたい兩制の狙ひ所に關しては、昨年の本省通牒中に示したのですが、本年これを實施した府縣からの報告は、それを十分實證したのであります。

- 即ち學區制を行つた所では、
- (一) 近距離通學の傾向が促進され
 - (二) 志願者が分散して各學校に均分され
 - (三) 學校差の觀念が打破され、且つその現象がなくなり
 - (四) 志願者の質が各學校に均分さ

れ

(五) 國民學校と中等學校との連絡が密になり

(六) 同一地區から多數が通學するため、通學訓練上、好結果を來したし

また綜合考査制を行つた所では、

(一) 優秀兒童の落伍を防止するこ

とが出来

(二) 考査と入學決定に關し信頼の念を高めることが出来

(三) 學校差を生じないやうにし

なつたのであります。

このやうな効果は、一面、入學難の緩和、適格者の選抜、進學指導の適正化といつたやうな、中等學校入學問題そのもの解決に寄與すると共に、他面、修練教育の強化、學校差の排除、國民學校からの一聯的教育の實現等、中等

教育の徹底化の上に貢献するところが大きいのです。

特に中等學校が國家の要請に應じ、新しい教育指標の下に力強い發見をしようとしてゐる時、その感が深いのであります。

なほ又、これに關聯して留意すべきことは、このやうな狙いと効果とをもつ以上、それは決して國內の一部地域の問題として取扱はるべきではないといふことです。従つて、これは單に大都市だけを目標とすべきものではないのであります。その意味で、本年の實施府縣に大都市を含む府縣以外のものが入つてゐることは、われわれに頗る心強さを與へるのです。

來年度に對し、文部省が兩制實施の一步前進を圖つた意圖も、また全く右の趣旨に基づくものに外ならないので

戦時下進學の心構へ

最後に今日の通牒では、國民學校で一層適正な進學指導を圖るべきことを指示してをります。

進學指導に關しては、前回の通牒でも注意を喚起してゐるのですが、それは三者綜合の現行考査法の施行に當つては、不可缺のものであるばかりでなく、學區制・綜合考査制を實施することになると、一層その重要性が認められるのです。

適正な進學指導とはどんなことか、一口にいへば、正しい進學の理念に立脚して個々の進學と學校選定につき指導することです。

では正しい進學の理念とは何でせうか。それは進學を以て個人的な名利的のためにではなく、國家に對し大きな奉公をなさんかためのもとする考へで

あります。

このやうな根本概念がしつかりして
れば、國民學校を修了後どんな方向
に進むがよいか、また、どんな種類の
學校を選ぶべきか、更にまた、どの學
校を志願すべきかにつき冷静に判断
することが出来、眞に國家の目的にそ
ひ、また個性に適應した正しい進學の
理想が達せられるのであります。

大東亞戦争下、わが國民はあらゆる
點で體制を一新し、この聖戦を闘ひぬ
かなければなりません。

中等學校への進學に關しても、父兄
は舊來やゝもすれば個人的な立場だけ
から、わが子の進學につき考へてあた
態度を一擲しなければなりませんし、
また國民學校の職員も、ともすればそ
の考へ方が、自己の學校とか學級だけ
に局限されてゐた弊を斷然改めなけれ
ばなりません。

しい進學の理念に基づいて、進學や學
校選定を行ふやうに努むべきでありま
す。

かくみて参りますと、適正な進學指
導に關する注意は、

國民學校に對して
なされてをります
が、この實現は單
に國民學校の職員
だけの力によつて
できるものではな
く、兒童の父兄に
對してもより強く
要望されなければ
ならない事柄であ
ります。

實際において、
父兄が子女の進學
について、最後の
決定權を握つてゐ
ることからいつて

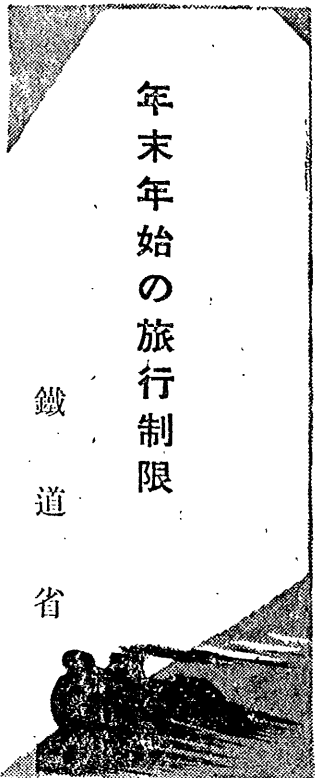
文部省編纂圖書抄

内閣印刷局發行

書名	定價	送料
大東亞戦争とわれら	〇・二〇	〇・〇四
國民學校制度ニ關スル解説	〇・二五	〇・〇四
日本諸學研究報告		
自然科學 第十五篇	〇・七〇	〇・二二
經濟學 第十六篇	〇・六五	〇・二二
歴史學 第十七篇	〇・六五	〇・二二
國語國文學 特輯第六篇	近刊	近刊
日本諸學		
我が國學界ノ展望ト課題(判刊號)	〇・六〇	〇・二二
大東亞戦争ト諸學ノ在リ方(二)	〇・五〇	〇・二二
日本諸學講演集		
經濟學 第一輯	〇・二〇	〇・〇四
歴史學 第二輯	〇・二〇	〇・〇四
教育學 第三輯	〇・二〇	〇・〇四
國民の道	〇・二〇	〇・〇八
國民道徳大意	〇・二〇	〇・〇八

年末年始の旅行制限

鐵道省



鐵道は、よく「國の血管」であり、「國
の動脈」であるといはれますが、こと
に今次の世界戦争では、近代戦の「新ら
しき武器」として再認識され、いよいよ
よその重要性を加へて來ました。まこ
とに現下の長期建設戦は、輸送力と輸
送力との戦ひ、廣い意味での「輸送軍」
といつても過言ではありません。

旅客輸送の根本方針

いはゆる戦時陸運非常體制の眼目
は、すでにご承知の通り、戦時下必要

な物資の陸上輸送力の確保、つまり重
要物資の輸送力を増強することにある
のであります。これを實現するには、
どうしても人に對する旅行規定が必要
になつて來ます。ことに外國と異つて、
旅客輸送が鐵道輸送の重大部門となつ
てゐるわが國では、この點について特
に考慮を拂はねばなりません。

年末年始の旅行調整策

毎年の例によりますと、年末二十八
日頃から正月三日頃までは、最も旅客

率を増すことに努め、また不急旅行の
自肅自制を皆様にお願ひしてゐる次第
であります。

もちろん、鐵道省といたしましては、
無暗に旅行の制限や乗車の抑制を行ふ
わけではありません。それどころか、
戦時下に必要な輸送を確保し、急を要
する旅行者の利便を圖るため、戦力増
強に直接關係の深い産業戦士諸君の
通勤はもちろん、官廳、工場、會社の
通勤者、將來の東亞を背負つて起つ學
生、生徒諸君の通學等にはどんな困難
を忍んでも、こと缺かぬやうに努め、
そのほか應召その他の緊急の要務のた
め、或ひは健民運動のための旅客移動
等に對しては、優先的に便宜をはかる
やうにしてをります。

の幅添する時期で、この期間は各等とも平日の二倍、三倍の旅客や荷物が殺到します。そこで鐵道省では、全輸送力を戦力の増強に資すると共に、次ぎのやうな劃期的な調整策でこの繁忙期を克服し、鐵道の輸送陣をさらに一層強化することにしました。

◇一等車、展望車の連結停止

十二月二十四日から一月十日まで、次ぎの列車の一等車連結をやめ、その代りに二等車を連結します。

区間	列車種別	発	時分	貨物期間
東京—長崎	一 東京發	11:00		
	二 長崎發	15:00		
東京—門司	一 東京發	11:00		
	二 門司發	15:00		
東京—神戸	一 東京發	11:00		
	二 神戸發	15:00		

◇二、二等寝臺車の連結停止

次ぎの列車の二、二等寝臺車の連結をやめ、その代りに三等客車を連結します。

等級	区間	列車種別	時分	貨物期間
一	東京—門司	一 東京發	11:00	
		二 門司發	15:00	
二	東京—長崎	一 東京發	11:00	
		二 長崎發	15:00	
三	東京—神戸	一 東京發	11:00	
		二 神戸發	15:00	

◇食堂車の連結停止

次ぎの列車の食堂車の連結をやめ、その代りに普通客車を連結します。

区間	列車種別	時分	貨物期間
東京—神戸	一 東京發	11:00	
	二 神戸發	15:00	
東京—大阪	一 東京發	11:00	
	二 大阪發	15:00	
東京—上野	一 東京發	11:00	
	二 上野發	15:00	

◇急行列車の近距離乗車制限

十二月二十六日から一月五日まで、次

ぎの區間相互發着の旅行には、急行列車の利用を停止し、近距離ゆきの方はこの際、隣接していたとき、眞に必要な長途の旅行者に道を開いていただくことにしました。

(イ) 東京附近

東京—沼津間、上野—白河間、上野—日立間、上野—水戸間、上野—蕨井澤間

(ロ) 米原、敦賀附近

金澤—敦賀間、小松—米原間、京都—敦賀間

(但し第五〇一、五〇二列車に限る)

以上のほか、廣島、門司鐵道局管内でも急行列車の利用を列車、期間を限つて制限することがあります。

◇特別急行列車の座席指定停止

十二月二十四日から一月十日まで座席指定を停止します。但し特別急行列金は従来通りです。これは年末年始だけ行ふもので、眞に急を要する旅行者のため一人でも多く機会を與へるためであります。従つて特急に乗つても座席がなく、立つて行く方も出来ると思ひますが、

お五ひに車内での購置精神を奨揚して、座席を交際し合ふやうにしたいものです。

◇關釜、青函航路の乗船指定

(イ) 一月六日から三十一日まで下の關、釜山間航路下り各便の二、三等旅客に對し、乗船月日と船便を指定し、發着の割當表を定めて乗車船券を發賣します。

(ロ) 青森、函館間航路は、十二月二十五日から三十一日まで下り全便、十二月二十五日から一月十一日まで上り六便、八便の各等の旅客にも、關釜間航路と同様の取扱ひで乗車券を發賣します。これは毎年、年末年始にかけて樺太、北海道方面、滿洲、支那方面から郷里に歸り、正月を迎へる人々が多く、そのため連絡船が満員となり、乗り残しが起るからです。

◇教員、學生、生徒の割引乗車券の發賣停止

十二月二十六日から一月五日まで教員、學生、生徒の割引乗車券の發賣を停止

止します。學校の休暇は、だいたい十二月二十日頃から一月十日頃まででありますから、休みに入つてすぐ旅行に出て、休みが終る頃に歸れば、この制限のため影響を受けることはないわけです。なほ、措置が二十六日以後まで続くものには、特別の取扱ひをいたします。

◇車内持込手廻品の制限

最近の車内への持込手廻品は、次第に大きく、しかも数が多くなり、荷物のため人が乗れないといふこともあり、十二月十五日から車内への持込手廻品は、旅客一人につき二箇以内とし、容積は〇・〇三六立方メートル(二尺一寸立方)程度の風呂敷その他包装によるもの、または長さ六十七センチ(二尺二寸)以内の旅行用鞄、手提行李等に限ることになりました。但し滿洲、支那向け等の遠距離旅客の携帶品は、多少緩和します。

◇スキーの車内持込制限

年末年始にかけて一定期間、列車を定めてスキーの車内持込みを禁止、あるひ

は持込指定列車を定めます。但しこれは東京、名古屋、大阪、新潟、仙臺各鐵道局管内に限ります。

◇交通道徳の昂揚

年末から年始にかけては、毎年各等とも非常に混雑しますから、驛や車内等では、交通道徳の發揚に努め、お五ひに大東亞共榮圏の指導國民として、恥かしくないやう秩序整然と行動し、また傷者、老人や老幼の方には、特に親切にして勞はつていただきます。

以上、年末年始の旅行規正について申し上げますが、これは皆様の理解と協力があつてこそ、初めて實現できるものであります。どうぞ、不慮旅行は差控へ、また國防上からも長く家を空けての遊覽旅行や、せいたくな保養旅行は十分に自衛自戒され、贈答品の託送等もこの際、全廢して、眞に決戦下の國民らしく簡素剛健な氣持で年を送り、意氣深い新年を迎へられるやう切望する次第であります。

標準漢字表について

國語國字の調査研究とこれが愛護の精神を培ふことは、國民精神の作興上、また國民教育の發達上、缺くことのできないことで、さらに大東亞共榮圏の共通語としての醇正な日本語普及の根基であることは、いふまでもないところでありませぬ。

元來、漢字は支那に發達した文字であります。わが國に傳來してから歳久しく、漢字によつて記された年代の確實な文献をもつやうになつてからも、すでに一千數百年を経たをります。

このやうに久しい由來を持つ漢字が、わが國の文化と密接不離の關係にあることは當然のこと、漢字が國民精神の作興、國民文化の進展の上に多大な寄與をしたことは、想像以上のものがあります。

従つて、貴重な文化財としての漢字は、十分尊重すべきであつて、これによつて國民は、わが國の歴史と文化とに對して正當な認識がもて、またこれを活用することによつて、將來の國民生活の向上を期待できるのであります。

文部省では、今回、義務教育で習得せしむべき漢字の標

準を示すために、標準漢字表を作り、去る十二月四日、閣議決定をみました。今回の標準漢字表の作製は、このやうな漢字の尊重と活用との趣旨に基づくもので、多數の漢字の中で、最も必要なものを選び、義務教育で習得せしむべき漢字の標準を確立し、漢字特有の機能を十分に發揚させようとするものであつて、漢字の使用を制限しようとするものではありません。

本表は、國語審議會が、本年六月答申した標準漢字表を基礎として、さらに檢討審議を加へたもので、漢字の總數二千六百六十九字となつてゐます。なほ本表中には、現在社會で普通に行はれてゐる簡易字體八十字を採用し、これを括弧内に示し、教育上、必要に応じてこれの使用を認めることにしました。また同日の閣議で、

各官廳においては、標準漢字表に照應して今後の用字に考慮を用ひること

の中合せを行ひましたが、この中合せの趣旨は、義務教育上、漢字の標準を定めたことに即應して、各官廳でも各種の公文書等の發表には、力めて平易な文字用語を使用し、これによつて政府の施策に對する國民一般の理解を容易にさせようといふところにあります。

文 部 省

この表は適宜とりはつしてご利用下さい

標準漢字表

- 一 本表は概ね義務教育に於て習得せしむべき漢字の標準を示したるものなり。但し古典、固有名詞、専門用語等は本表に據らざるものとす。
- 一 本表中には普通に行はる、簡易字體を採用し之を括弧内に示せり。

後の手段として、現に全潜水艦を太平洋、インド洋の各水域に放ち、わが海上交通路を破壊して、わが國と南方との連絡を切斷し、わが國を孤島化して、生産力の息の根を止めようと企圖してゐます。

この通商破壊戦の戦場裡に、武装のない商船、或ひは武装があつても敵艦、敵機と對等に太刀打ち出来ない商船に乗組んで、朝に敵機の爆撃を冒し、夕に敵艦の雷撃を突破して交通路を確保するために、日夜血と汗の戦ひを續けてゐる商船隊員の勞苦の程は、次ぎの一文によつても、十分に想像できます。

魚雷五本と死闘

昭和十七年〇月〇日十時三十五分、巻蠶は去來し、晴曇は相半ばし、細波は爽かに立つて、巨艦伏見丸の航海を祝願するかのやうに見えた時、突然、船橋に響く

「右舷百二十度〇〇メートル雷跡」と叫ぶ三等甲板員の聲。續いて「右舷百二十度〇〇メートル雷跡」と同時に、當直三等運轉士は投げるやうに力強く

「取舵一杯」
激しく廻る舵輪。船橋へ慌たどしく飛び出る船長の巨軀。けたましく鳴る非常召集の警笛。「魚雷！魚雷！」と叫びながら各自の部署に就く。慌たしい足音の中に、救命袋と共に船外に出る船客。船長と三等運轉士は身體を左へ傾けながら、船橋の窓を預りしめる。近づく魚雷の心憎いほど落着いた白線二條。近づく、近づく。幾百人の生命はたゞ船の振れ出すに懸つてゐる。下令後、一秒、二秒、三秒……五秒、十秒、船を自ら覆げんばかりに眺みつけてゐる船長の面。點ほどに見えた白線は一秒、二秒と時間を經るにつれ、長く尾を引いて船をめぐりて突進して来る。最早これまでと思つた時、船は左に引かれるやうに動き始めた。「廻つた！」

魂の叫びのやうな聲につれて、船は勢ひついたものやうにグン／＼と左へ／＼と廻る。白線は長く／＼伸びると共に船と並行になる。「戻せ」、「戻せ」。船長の號令と共に、船側直前〇メートルを白線は何物かに引かれるやうに去つて行つた。

「取舵一杯！左機停止！」
船長は双眼鏡を右舷に向けた。二等運轉士の報告。「取舵一杯！左機停止！」
執拗な見えざる敵が放つた第三番魚雷だ。伸びる、伸びる白線。近づく、近づく雷跡。しかし見る間に、徐々に雷跡は直角方向から右舷斜めに變つた。見事な急左廻轉だ。見よ、的を逸れた魚雷は、一目散に右舷を波音も騒がしくゴーツと走り去つた。過ぎ行く魚雷を追ふ客の眼に浮ぶ歡喜の涙。思はず叫ぶ「萬歳！萬歳」の聲が船内にどよめいた瞬間。
「左舷九十度雷跡二本」
性懲りもなく敵の無駄矢二發。老練な船長

に敵する術もなく、これも難なく避航、二條の白泡は右舷を過ぎて行つた。時に午前十一時十分。
かくして三十五分間に亘る見えざる敵との闘ひに、凱歌は高く我が伏見丸に響いたのであつた。

任務は重し輸送船

商船にとつて海は戦場であると同時に戦場でもあります。港から一歩出れば、そこには敵潜水艦が姿を隠して待伏せてをりますし、小雀を狙ふ荒鷲のやうに敵飛行機が飛んで來ます。
ですから航海中の全乗組員は、單に各自の職務に全力を注ぐだけではなく、さらに風の目も雨の夜も、見張りに立つて、いつ襲つて來るとも知れない敵を警戒せねばなりません。炎天に灼けつくやうな陽を全身に浴びながら、全身を眼にして前方を睨んで立つてゐなければなりません。打ち揚げるしぶきに頭から濡れ鼠のやうになつてしま

ひます。汗は濡のやうに流れて、眼にも耳にもお構ひなく入つて來ますが、それを拭がうともしません。若し萬一、拭いてゐる間に敵の潜水艦が現はれたら！と思へば、軽々しく拭くことも出来ないのです。

眞暗な雨の夜も黙々として前方を睨んでゐます。肉眼で見えないならば、この俺の心眼で見抜いてやる、といふ烈々たる精神で立ち続け、部隊を、兵器を、軍馬を、無事に目的地に送り届けねばなりません。
そして若しもの場合には、わが身を捨てても、部隊を一人でも多く、兵器を一つでも多く、軍馬を二頭でも多く、埋陸させねばならないといふ鐵石の決意と覺悟の下に、敢然と敵地に突進して行くのです。

海ゆかば水漬く屍

敵機の爆撃に、甲板上のガソリン罐

に引火した或る船では、残りのガソリン罐に引火しては一大事と、乗組船員は敢然、濡れ髪をもつて燃え焔つてゐるガソリン罐に抱きつき、次ぎから次ぎへと海の中に投げ込み、遂に部隊と船を救つたといふことです。

また、或る船では、敵前上陸を敢行中、敵機の爆撃を受けて、部隊が乗りこんでゐた發動艇が轉覆してしまひました。これを見た船員は、忽ち身を躍らせて海中に飛びこみ、救助艇の船縁に身を沈め、武装した身重な兵隊の踏み臺となつて、部隊の上陸を助けたとこのことあります。
その他、米商船ハリソン號を追走、擱坐させた長崎丸、米潜水艦の上を乗り切つて沈没させた辰風丸、米潜水艦と獨力四度までも砲戦を交へ、遂にこれを海底に葬り去つた油槽船寶洋丸、等々の「海ゆかば水漬く屍、大君の邊にこそ死なめ」の精神に徹し切つた帝

國船員の勇壯果敢な美談佳話は、枚擧に遑のない程であります。

手紙にみる船員魂

いま、帝國船員は一人残らず決死の覚悟を定め、敢然として死地の中に、部隊の、軍需品の、銃後生活必需品物資の輸送に挺身してをります。

〇〇船の或る少年海員は、母親に次ぎのやうな手紙を書いてをります。

お母さん、喜んで下さい。今度、私も戦争に行くことが出来ることになりました。村の誰々さんが入隊した、應召したといふお便りをいたゞくたびに、どうにも羨ましくて、あても立つてもをられない氣持でしたが、今度はその戦争に行かれるやうになつたのです。

二十歳前で戦争に行かれるなんて、こんなに嬉しいことはありません。亡くなつたお父様も、肩身が廣くなつたと、地下で喜んでゐて下さることと思つてゐます。

また、或る老船員は、父の歸りを指折り數へて待つてゐる幼い子供に宛て次ぎのやうな手紙を與へてゐます。

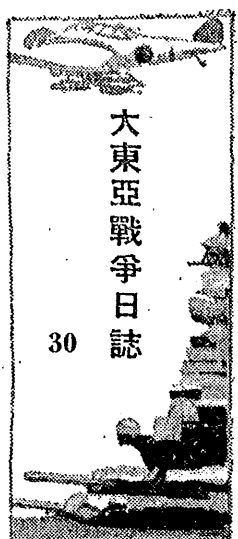
坊や、元氣で遊んでをりますか。今度、お父様は、坊やの大好きな兵隊さんと同じやうに戦争に行くことになりました。嬉しいでせう。この夏用帆してから大分たちましたから、坊やも随分大きくなつたことせう。佛印から坊やの大好きなチョコレートをお土産に買つて来ました。が、家へ歸らずに戦争に行くことになりましたので、小包で送ります。皆して仲よくいたゞいて下さい。我儘をいつてお母様を困らせてはいけませんよ。では、丈夫で早く大きくなつて、強い日本の兵隊さんになつて下さい。

× ×
懐かしい両親や兄弟のこと、可愛い妻子のこととも忘れず。

れて、大東亞戦下、たゞ御國のために滅私奉公、上陸作戦に、海上交通路の確保に、協力挺身してゐるこれらの帝國船員と、留守宅で無事に御奉公を祈り續けてゐる家庭の方達に、私どもは心からの感謝と温かい援護の手を差し伸べ、その勞苦に酬いようではありませんか。

寫眞週報 十二月二十三日發行 定價 十三日發行

天皇陛下、神宮に御参拜
畏き敬慮にこたへ奉らん。(眞實と忠告)
全團に燃えあがる新たなる決意
十二月八日を迎へた國太から發着までの
各陣地を歩々に見る記念行事の模様
ソロモン戦關の性格 (増田と記事)
ソロモン海域にあがる凱歌 (敵艦撃沈の状況)
敵艦は必ず来る
大阪市成小路國民學校の防空訓練
東京市大井町の隣組防空訓練
滞貨一掃に奉仕隊の活躍
南方二信
豪華な病院は住民に開放 (獨逸)
ボルネオの土地と住民
一月の國策



大東亞戦争日誌

30
自昭和十七年十一月十九日
至同 十二月 四日

陸軍將兵へ論功行賞
大東亞戦争第二回(陸軍第二回)、支那事變第五十九回(陸軍第四十三回)論功行賞の御沙汰あらせらる

北支軍、十月の綜合戦果
遺棄死體約八千三百、捕虜約七千八百、迫撃砲一八、重機七六、小銃六千二百、手榴彈一万四千

海軍將兵へ論功行賞
支那事變第六十回(海軍第二十八回)論功行賞の御沙汰あらせらる

十一月二十八日(土)
第三次ソロモン海戦の擴大戦果

第三次ソロモン海戦の戦果は、その後の詳報により、さらに次ぎの戦果を収めたことが判明の旨、大本營發表一、十二日夜戦において、敵巡洋艦三隻を撃沈、驅逐艦三隻を中破、二、十四日夜戦において、敵戦艦一隻を撃沈、戦艦一隻を大破(沈没)、駆逐艦二隻を中破、巡洋艦三隻、驅逐艦三十四隻、輸送艦三隻、中破、駆逐艦一隻、驅逐艦三隻

十一月三日(日)
天皇陛下、陸大空業式に行幸
第五十六期卒業式に親臨あらせられ、次いで大本營陸軍部に行幸あらせられた

帝國水雷戦隊は、ガダルカナル島ルンガ沖で敵有力部隊に強襲を敢行、次ぎの戦果を挙げた
戦艦一隻撃沈、オースタ型巡洋艦一隻撃沈、驅逐艦二隻撃沈、驅逐艦二隻火災

我が方の損害 驅逐艦一隻沈没
十二月二日(水)
比島方面の肅清作戦
比島方面陸軍部隊は、僻地に蠢動中の米比敗殘兵の討伐作戦を續行、八月以來十月までに次ぎの戦果を挙げた旨、大本營發表
遺棄死體約四千、俘虜約三千、機關砲三三、重機七、自動小銃一〇五、その他銃器七千四百五十八、各種彈藥約百万發、自動車四八

皇后陛下、陸海軍病院に行啓
皇后陛下には三日、横須賀海軍病院に、さらに四日には臨時東京第一陸軍病院と陸軍軍醫學校に行啓、傷病將兵を親しく御慰問あらせられた

支那派遣軍一ヶ年の戦果
支那派遣軍では、一ヶ年の作戦成果と重慶撃滅の重大決意を闡明したが、その綜合戦果は次ぎの通りである。
交戦兵力約三百六十万、交戦回数約三万五千回、遺棄死體約二十八万、捕虜約十二万三千、迫撃砲五十ヶ師分、小銃四十八ヶ師分、輕機十八ヶ師分、重機十一ヶ師分

思想戦 讀本

情報局では、さきに本週報誌上に「思想戦讀本」を連載し、いろいろの角度から、思想戦の意義をとき、我々が思想戦の戦士として如何に御奉公の誠を致すべきかを示したが、週報讀者をはじめ、その他各方面からの切望により、その内容を取纏めて週報叢書として刊行し、更に一般國民の思想戦への關心を深め、逞しい實踐の指針たらしめることとした。

— 内 容 —

- 大東亞戦争と思想戦
- 思想戦と政治
- 思想戦と経済
- 思想戦と文化
- 思想戦と科学
- 思想戦と教育
- 思想戦の基礎

近日、全國各地官報販賣所、書店等から賣出されます。

行發局刷印閣内 錢十二 價定

週報 發行豫定について

大東亞戦争一周年特輯の増大號を發行した關係から、十二月三十日發行の週報、寫眞週報は休刊し、新春の一月六日號を一月早々發賣いたします。

週 報

昭和十七年十二月二十三日發行

印刷所 東京市神田區
 永田町一丁目一番地
 印刷局 東京市神田區大手町

一部 五錢(送料一錢)

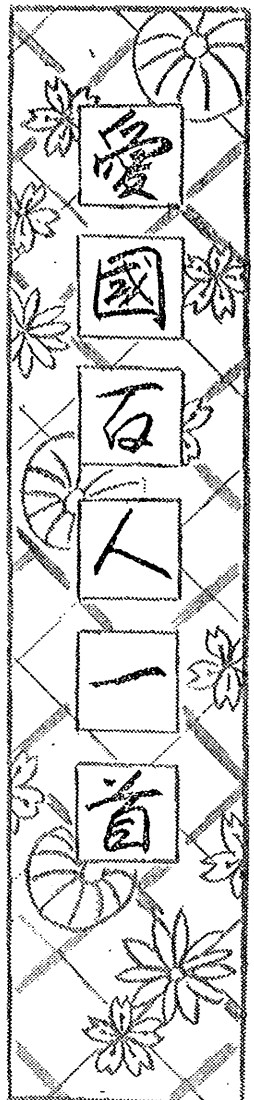
▲豫約配達希望の方は一部五錢(送料一錢)の宛合を以て前金を送へ(即ち下さい)
 ▲特大號の場合は其の額度御拂込より差額を申受けます

▲本誌より轉送の場合は必ず「週報如何に」の行を明記し、その轉送先を情報局編輯部宛に御送り下さい
 ▲本誌記事の無断転載は御断り致します
 ▲掲載記事に対する御希望や論議に關しての御意見も週報編輯部宛にお知らせ下さい
 ▲本誌を他へお送りの場合は送料一部一錢

意 注 御

所込申 全國各地官報販賣所 書店・新聞店・驛賣店

定 價 一部 五錢(送料一錢)



皇は神にしませば天雲の雷の上に感せるかも
 大宮の内まで開け網引すと網子と、のふる海人の呼聲
 安見し、わが大王の食國は大倭も此處も同じとぞ念ふ
 千萬の軍なりとも言集せず取りて來ぬべき男とぞ念ふ
 士やも空しかるべき高代に語り續ぐべき名は立てずして
 あしびきの山にも野にも御獵人得物矢手扱みみだれたり見ゆ
 旅人の宿せむ野に宿降らば吾が子羽ぐくめ天の鶴群
 わが背子ほものな念はし事しあらば火にも水にも吾無けなくに
 丈夫の弓上振り起し射つる矢を後見む人は語り繼ぐがね
 御民吾生ける驗あり天地の榮ゆる時に遇へらく念へば

日本文學報國會撰定 情報局認定

柿本人麻呂
 長 奥麻呂
 大 伴旅人
 高橋蟲麻呂
 山上憶良
 山部赤人
 遣唐使使入母
 安倍女郎
 等 金村
 海犬養阿麻呂

いのちより名こそ惜しけれ武士の道にかふべき道しなれば
あふぎ来てもろこし人も住みつくやげに日の本の光なるらむ
あぢきなやもろこしまでもおくれじと思ひしことは昔なりけり
富士の嶺に登りて見れば天地はまだいくほどもわかれざりけり
行く川の清き流におのづから心の水もかよひてぞすむ
ふみわけよ日本にはあらぬ唐鳥の跡を見るのみ人の道かは
大御田の水泡も泥もかきたれてとるや早苗は我が君の爲
もの、ふの兜に立つる鍬形のながめ柏は見れどあかずけり
すめ神の天降りましける日向なる高千穂の嶽やまづ霞むらむ
天の原てる日にちかき富士の嶺に今も神代の雪は残り
千代ふりし書もしるさず海の國のまもりの道は我ひとり見き
我を我としろしめすかやすべらぎの玉のみ聲のかゝる嬉しさ
あし原やこの國ぶりの言の葉に榮ゆる御代の聲ぞ聞ゆる
しきしまのやまと心を人とは、朝日ににはふ山さくら花
初春の初日か、よふ神國の神のみかげをあふげ
八束穂の瑞穂の上に千五百秋國の秀見せて照れる月かも
香具山の尾上に立ちて見渡せば大和國原早苗とるなり
かけまくもあやに畏きすめらぎの神のみ民とあるが樂しさ

栗上橋荒本小高林橋根田賀荷徳下新三森
田田木居澤山彦子枝魚宗眞春光河邊納條道
士秋千田宜蘆九彦直彦武淵滿園流元隆
滿成蔭老長巷郎平直彦武淵滿園流元隆

遠つ祖の身によろひたる耕織の面影浮ぶ木々のみち葉
大日本神代ゆかけて傳へつる雄々しき道ぞたゆみあらずな
青海原潮の八百重の八十國につぎてひろめよ此の正道を
一方に靡きそろひて花す、き風吹く時ぞみだれざりける
安見し、わが大君のしきませる御國ゆたかに春は來にけり
かきくらすあめりか人に天つ日のかがやく邦のてぶり見せばや
我が國はいともたふとし天地の神の祭をまつりごとにて
君がため花と散りにしますすらを見せばやと思ふ御代の春かな
大君のためには何か惜しからむ薩摩のせとに身は沈むとも
大君の宮敷きまし、摺原のうねびの山の山、おもほゆ
君が代を思ふ心のひとすぢに吾が身ありともおもはざりけり
大君の御贊のまけと魚すらも神代よりこそ仕へきにけれ
身はたとひ武藏の野邊に朽ちぬとも留め置かまし日本魂
君が根も碎けざらぬや武士の國の爲にと思ひ切る太刀
天さかる蝦夷をわが住む家として並ぶ千島のまもりともがな
天皇に仕へまつれと我を生みし我がたらちねぞ尊かりける
鹿島なる御靈の御剣をこゝろに磨きて行くはこの旅
朝廷邊に死ぬべきいのちながらへて歸る旅路の憤ろしも

有高佐徳有村吉石梅鹿僧加足藤大香平賀蒲
馬橋久川田川田持納代田倉川田茂生
新多良齊次松依雲雅月諸弘東鷺景篤季君
七郎雄昭門陰平濱澄照平訓湖夫樹胤鷹平

週報は民翼賛の道しるべ

報

昭和十七年十二月二十二日 種郵便物認可 (毎週一回水曜日発行)

Table with columns for serial numbers (e.g., 41866, 44061) and corresponding values. Includes a header section with details about the '貯蓄債券' (Savings Bonds) and '當籤番号表' (Drawing Number Table).

(本書の大きさは国定規格A5判)

内閣印刷局印刷發行